



袖ヶ浦市消防団広報

Sodegaura City Volunteer Public Information

No. 20
令和8年4月1日
袖ヶ浦市消防団

袖ヶ浦市消防団

TEL 0438-62-0119 袖ヶ浦市消防本部総務課



令和7年度袖ヶ浦市消防団
早出し競技会 優勝
(第7分団 蔵波第4、第5分区・外野・蔵波台)

《令和8年度消防団本部役員紹介》



団長
阿津 好幸



副団長
伊豆 啓介



本部長
佐久間 誠

《方面隊管轄地区》
第1方面隊…昭和地区
第2方面隊…長浦地区
第3方面隊…根形地区
第4方面隊…平岡地区
第5方面隊…中川・
富岡地区



第1方面隊長
内藤 清文



第2方面隊長
古泉 俊一



第3方面隊長
大勝 寛人



第4方面隊長
有原 努



第5方面隊長
川名 信行

消防団第18分団詰所が新しくなりました

消防団第18分団詰所（袖ヶ浦市三箇）の建替が完了しました。災害時の防災拠点として補修等により維持してきましたが、老朽化に加え現行の耐震基準に満たないことから、昭和49年に建設した旧詰所を取り壊し、同一敷地内に木造2階建ての消防団詰所を建て替えました。



2階 待機室



1階 車庫

消防団員のさまざまな研修事業を紹介します!!

令和7年度主な研修事業

- ・女性消防団員科第20期 (5/24 ~ 25)
- ・災害対応力強化研修会 (10/11・10/26)
- ・消防団員指導員研修 (11/22 ~ 23)
- ・消防団員ドローン操作講習 (12/6 ~ 7)
- ・伐木等業務 (チェーンソー) 特別教育 (12/10 ~ 12、1/28 ~ 30)
- ・第25回消防団幹部候補中央特別研修 (1/28 ~ 30)
- ・君津支部公務災害防止研修 (2/8)
- ・指揮幹部科現場指揮課程第11期 (2/14 ~ 15)
- ・指揮幹部科分団指揮課程第11期 (3/14 ~ 15)



女性消防団員科第20期
入校風景



消防団員ドローン操作講習訓練風景



君津支部公務災害防止研修
研修風景

消防団員指揮幹部科現場指揮課程を修了して



第1方面隊長 内藤 清文
2月14日(土)、2月15日(日)の2日間、千葉県消防学校において、「消防団員指揮幹部科現場指揮課程第11期」に入校し教育を受けました。

現場指揮・安全管理の座学や火災防ぎょ訓練など、実災害を想定し現場指揮及び消火活動を行うことで、消防技術の習得や消防団幹部としての役割等について、多くのことを学ぶことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。今後はこの経験を活かし、自身のスキルアップと共に、消防団幹部として分団員の見本になるよう、活動に取り組みます。

第25回消防団幹部候補中央特別研修を修了して



袖ヶ浦市消防団第7分団

第7分団 伊東 佑紀

1月28日(水)~1月30日(金)の3日間、日本消防会館(東京都港区虎ノ門)にて公益財団法人日本消防協会主催「第25回消防団幹部候補中央特別研修」に千葉県代表として参加してきました。

日本消防協会会長 秋元様の講話からスタートした研修は、「消防庁国民保護・防災課」「一般財団法人消防科学センター」「東北大学特任名誉教授(元気象庁長官)」「国土館大学名誉教授(元NHK説明委員)」「呉市消防団長」といった日本トップクラスの専門家による講義に加え、「災害対策本部を想定した図上訓練」「テーマ別の課題研究」などのグループワークを実施しました。

私は、「若い世代の消防団員を確保するための入団促進対策について」という課題研究テーマを選択し、「二十歳を迎えた若者向けの入団促進動画・CMの放映」や「市内を運行するコミュニティバスに募集ラッピングを施す」などの広報活動をきっかけに入団へ繋げていただく案を総務省消防庁職員の前で全体発表を行いました。

最後に研修を通じて多くの仲間と意見交換を行い全国に広がった防災ネットワークと知識を糧に地域特性や時代のニーズに即した持続可能で新しい消防団へと進化できるよう尽力していくとともに袖ヶ浦市の「安心・安全」確保に向けた防災力の向上に努めて参ります。

消防団員は年間を通してさまざまな研修に参加しています。消防学校への入校や研修に参加することで、個人の知識や技術の向上だけではなく、袖ヶ浦市消防団の底上げを図っています。これからもいろいろな研修に参加していただきたいです!



阿津団長から一言

令和8年袖ヶ浦市消防出初式を挙行了しました!

消防団と消防隊の連携した演技訓練

令和8年1月18日(日)、袖ヶ浦市消防出初式を挙行了しました。昨年につき、演技訓練では消防団と消防隊による連携した想定訓練を実施しました。消防団員の活躍が大いに伝わる内容となりました!

訓練のフィナーレを飾る一斉放水訓練

令和7年度 袖ヶ浦市 消防団活動紹介

4
~
5
月

- ・ 辞令交付式
団長から新分団幹部へ辞令が交付されました。
- ・ 規律訓練及び新入団員講習
災害現場では危険が多いため、統率の取れた行動と指揮命令系統を確立するため、新入団員に対し、団幹部から消防団員に必要な心構え等を指導しました。
- ・ 第1回団本部・分団長会議
- ・ 消防団幹部視察研修



- ・ 第2回団本部・分団長会議
- ・ 令和7年度袖ヶ浦市消防団早出し競技会

初期消火の重要性を考慮し「実践的に水を出す」ことを主眼としたもので小型ポンプを使用し、実際に揚水（吸水）から放水まで迅速・的確・安全を重点として競い、機関運用および放水技術の向上を図ることを目的として開催しています。

◎大会の結果

優勝 第7分団
(蔵波第4、第5分団・外野・蔵波台)
第2位 第2分団
(高須・袖ヶ浦駅前2丁目)
第3位 第12分団
(大曾根・野田・勝・のぞみ野)

各分団が工夫を凝らし、いかに迅速・的確・安全に火点の的を倒せるかを競技した結果、見事第7分団が優勝しました！



6
~
7
月

- ・ 火災及び震災対応講習会
- ・ 震災対応訓練

近年頻発傾向にある自然災害に対応するべく、震災対応訓練を実施しました。消防団の仕事は消火にはとどまらず、地震・台風・集中豪雨などの各種自然災害に対応する力も求められます。有事の際は各地区の消防団が中心となり活動できるよう、瓦礫からの救助活動をメインに訓練を行いました。

- ・ 第3回団本部・分団長会議
- ・ 中学生を対象とした避難所開設体験

自主防災組織、災害対策コーディネーターの指導のもと、長浦中学校の生徒と避難所開設体験を行いました。

災害時に中学校施設が避難所となった際、避難所開設にあたりどのような動きをしなければならないのか、また、避難所での生活にどのような問題があるのか等、一緒に考えながら体験しました。消防団は若年層の認知度が低い状況にあるため、一緒に消防団活動を体験することで認知度の向上及び防災やボランティアに興味を持ってもらい、将来的な入団促進に繋げていくことを目的としています。

- ・ そでがうらまつりアレイサノサ

消防団PRブースを設置し、来場者の方々へ袖ヶ浦市消防団の啓発活動を行いました。



8
~
10
月

- ・ 秋季火災予防運動
- ・ 第4回団本部・分団長会議
- ・ 歳末特別警戒

12/26~12/31までの間、各地区を管轄する分団が住民の安全を願い「火の用心」の鐘を鳴らしながら巡回しました。

- ・ 袖ヶ浦市消防出初式

消防防災に対する決意を新たにし、消防職・団員の士気高揚と団結の強化を図るとともに、消防業務に功績のあった職団員の表彰を行う場として消防出初式を挙りました。



11
~
1
月

2
~
3
月

- ・ 第5回団本部・分団長会議
- ・ 消防団更新車両引渡式
消防ポンプ車の老朽化に伴い、第10・16分団車両を小型動力ポンプ付き積載車に更新しました。
- ・ 春季火災予防運動
- ・ 消防団詰所落成式
第18分団詰所の建替えに伴い、詰所落成式を行いました。



袖ヶ浦市女性消防団は仲間を募集しています！

袖ヶ浦市女性消防団は男性消防団員と同様、普段はお仕事をする傍ら、現在13名で活動しています。全国的に女性消防団員数は増加傾向であり、袖ヶ浦市も令和7年度は3名が新たに加わりました。消防活動が多様化している中で、女性の持つソフトな面を活かして、一人暮らし高齢者宅訪問、子供たちを含む地域住民への防災教育や応急手当の普及指導などを行っています。

近年では、大規模災害時の避難所運営のため、HUG訓練（避難所運営訓練）も取入れ、また、応急手当啓発員や災害対策コーディネーターの資格取得など、災害対応面での活動にも力を入れています。ぜひ私たちと一緒に活動しませんか？

【入団のお問合せは下記募集記事を参照】

令和7年度の活動

- ・規律訓練
- ・女性消防団会議（2回）
- ・火災及び震災対応講習会
- ・応急救護訓練
- ・防災紙芝居（幼年消防クラブ大会）
- ・親子の消防体験学習
- ・そでがうらまつりアレワイサノサ
- ・歳末特別警戒
- ・令和8年袖ヶ浦市消防出初式
- ・女性消防団活性化シンポジウム参加
- ・一人暮らし高齢者宅防火診断



消防団員募集

～人と街を守るチームの一員に～

消防団は地域を守るヒーロー！！

消防団は、地域に住む方々により組織され、消防団員一人ひとりが仕事を持つ傍ら、「自らの地域は自らが守る」という精神に基づき、地域の安全・安心のために日々活動しています。

消防団は災害対応の他にも、防災拠点である消防団詰所や消防団車両の整備、地区内消防水利点検、防災訓練をはじめとした地元行事のお手伝い等、日頃からさまざまな活動をおこなっています。

いつ来てもおかしくない災害に備え、家族を守る、地域を守る消防団は、今、あなたの力を必要としています。令和8年3月現在の消防団員数は364名（うち女性消防団員13名、機能別消防団員50名）が在籍しています。入団を希望される方や興味を持たれている方の入団を心よりお待ちしております。



←親子の消防体験学習にて放水体験



地元消防団により、高齢者宅に住宅用火災警報器を設置⇒

- 【入団資格】** 特別な資格はいりません！！
 ◎以下のどれかに該当する18歳以上の男女
 ・袖ヶ浦市に居住、または勤務している方
 ・袖ヶ浦市の近隣に居住し、消防団活動を行える方

【お問い合わせ先】

袖ヶ浦市消防本部 総務課 ☎62-0119
 mail:sode49@city.sodegaura.chiba.jp



←消防団PR活動